



CSたより

8号

コミュニティ ・ スクール

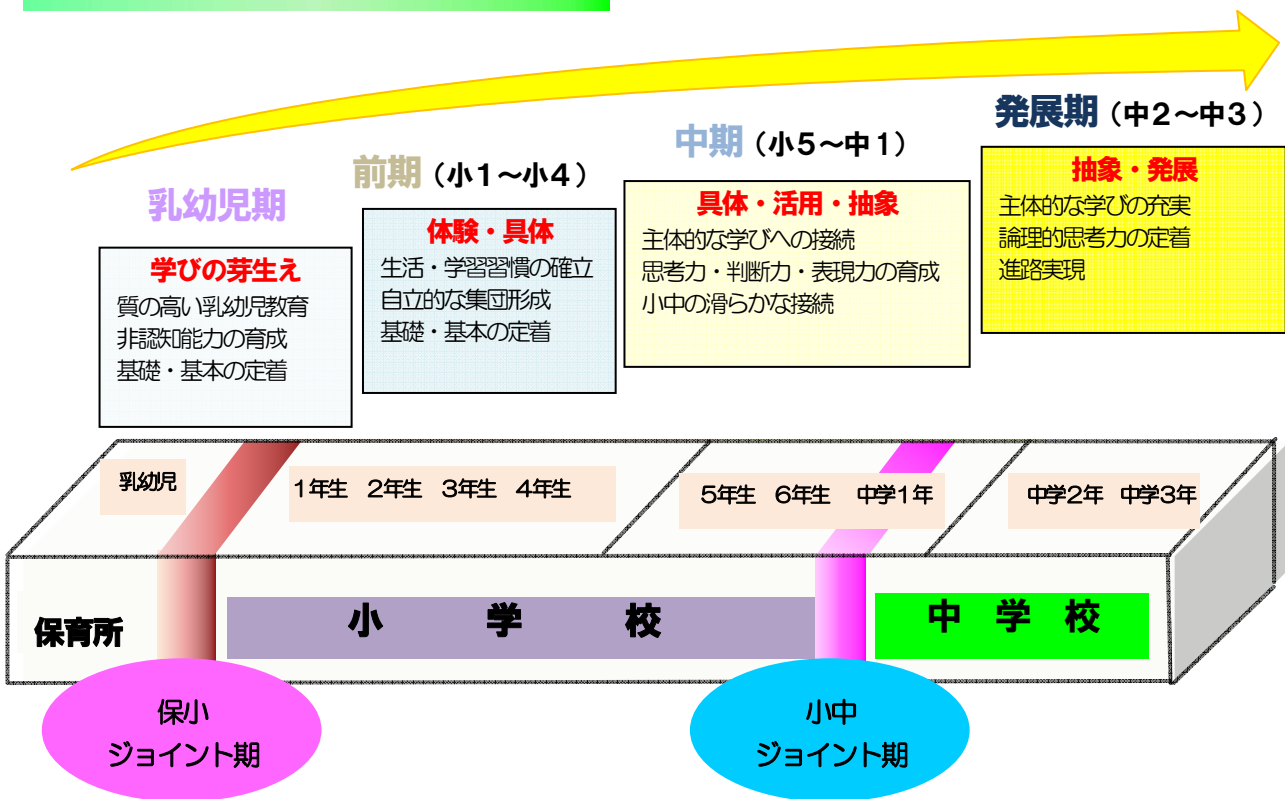
11月上旬には早くも立冬を迎え、そろそろ冬支度の季節がやってきました。今年は、厳しい夏の暑さとなり、9月にもその暑さが続きました。地域の皆様の中には、体調を崩された方もおられたかと思えます。また、10月には、朝晩の寒さを感じる日々となり、寒さで震えてしまうようなこともありました。そんな中でも、子供たちは元気いっぱい学習や運動、遊びに取り組んでいます。

さて、今回は、朝日町が進めている12年間の学びの連続性と朝日町型部活動コミュニティクラブについてお伝えいたします。

朝日町独自の12年間の学びの連続性

朝日町では、令和4年度より保小中一貫教育を行っています。学校名の前にも、朝日町保小中一貫教育校という文字が入ります。では、まずイメージとして、以下に示す学びの図をご覧ください。

12年間の学びの連続性



保育所と小学校、小学校と中学校、それぞれのジョイント期を大切にした、切れ目のない学び

朝日町が進める保小中一貫教育のねらいの一つに、小1プロブレム、中1ギャップの解消があります。小1プロブレム、中1ギャップとは、幼児教育から小学校教育、小学校教育から中学校教育へと指導が変化するとき、その段差を乗り越えられないために起こる不適応行動のことです。例えば「集団行動がなかなかとれない」、「授業中に座ってられない」などがあげられます。町では、それらの問題を解消するために、保小中の連携を深めています。以下の学習活動もその一つです。

○ 中学校体験入学（9月27日）・・・ふるさと科・保小中一貫教育



中1ギャップ解消の一つとして、あさひ野小学校とさみさと小学校の6年生約70名が集合し、「中学校入学体験」に参加しました。朝日中学校では、国語科と英語科の授業を受けました。中学校での学習は、少しばかりの緊張感をもって受けました。また、小学校とは違う環境や自分たちの小学校を卒業した先輩方の姿にも接し、中学校生活への不安を和らげるとともに、入学への希望を大きくもって体験を終えることができました。学習の内容は、

国語科はことわざのかかるた。英語科は、クイズを通じた言葉の理解でした。休み時間には、互いの小学生がうで相撲をしたり、会話を楽しんだりして楽しそうに体験入学を終えました。

【子供たちの感想】

- ・ 違う学校の6年生と話したり、授業を受けたりすることで、中学校への入学が楽しみになった。

○ 保小中合同音楽会（10月25日）・・・ふるさと科・保小中一貫教育



保小中一貫教育の活動として、保小中合同音楽会があります。この学習活動は、朝日中学校体育館で開かれ、音楽鑑賞を通じて互いの交流を深めました。この音楽会には、保育園（年長）、小学校（6年生）、中学校の子供たち、約300名以上が参加し、女性音楽ユニット「にじいろ音楽隊」の楽団が演奏する「ルパン三世」や「情熱大陸」のテーマ曲を楽しみました。子供たちは、曲

に合わせて手拍子をしたり、踊ったりして体でも自分の気持ちを表現していました。保小中の子供たちが、同じ空間の中で貴重な時間を共有したことは、とても得難く嬉しいものでした。

【子供たちの感想】

- ・ この音楽会を楽しみにしていました。聞いていて、私の中で楽しさが2倍以上になりました。

町では、保小中の指導者や保護者（代表）間で、情報交換を綿密に行い、学びの中で子供たちの良好な関係をつくり上げています。また、保小連携、小小連携、小中連携を意図的に進め、子供同士の仲間意識を育てています。上記以外の学習として、令和4年度では、以下の学習活動が行われました。

- ・ 保小交流会（保小）
 - ・ 小学校運動会保育園との交流（保小）
 - ・ 小学6年合同宿泊学習（小小）
 - ・ 小学5・6年合同記録会（100m走とハードル走）（小小）
 - ・ 小学5年合同校外学習（小小）
 - ・ 小学5年合同校外学習イタイイタイ病資料館（小小）
 - ・ 小中乗り入れ授業（算数・音楽・通級）
 - ・ 中学校説明会（小中）
- ※ 令和5年度（今年度）に行われた学習活動も、今後お伝えしていきます。

朝日町型部活動コミュニティクラブ

朝日町では、中学校の部活動の一部を地域クラブ活動に移行し、朝日町型部活動コミュニティクラブとして実施しています。そのクラブ名と活動場所、指導責任者をお知らせします。ねらいは、部活動を通して、子供たちの育成を地域の皆様とともに進めていくことにあります。また、部活動を地域に移行することで、教職員の負担軽減につなげ、教員が日々子供と向きあう時間を十分に確保するところにあります。町では、学校と地域全体で、より充実した活動を進めています。

【地域クラブ一覧】

	クラブ	活動場所	指導責任者
1	卓球クラブ	サンリーナ卓球室	水島一友（部活動指導員）
2	柔道クラブ	武道館柔道場	南茂勇氣（部活動指導員）
3	陸上競技ジュニアクラブ	グラウンド・サンリーナ第2体育館	田畑力也（町陸上競技協会）
4	バスケットボールクラブ	サンリーナ第2体育館	山崎 均（部活動指導員）
5	剣道クラブ	武道館剣道場	大谷範行（部活動指導員）
6	ソフトテニスクラブ	テニスコート・サンリーナ第2体育館	山崎那江（部活動指導員）
7	バレーボールクラブ	サンリーナ第2体育館	愛場綾子（スポーツエキスパート）
8	野球クラブ	グラウンド・屋内グラウンド	水島康寿（部活動指導員）
9	吹奏楽クラブ	朝日中学校 音楽室	飯田澄代（部活動顧問）

9月～10月の「ふるさと科」（社会科・総合・学校行事）

○ 宮崎太郎（9月6日・9月22日）

6年生の子供たちは、地域学校協働活動推進員の水野瑠美子さんと朝日町の歴史を語る会のメンバーの方々から、平安時代末に活躍した宮崎太郎について学びました。



【学習内容】

- ・ 現在の朝日町に住んでいた武士で、朝日から黒部川までの地に目を光らせていた。
- ・ 平安時代末期の人で、当時の平家の横暴な支配に不満をもっていた。
- ・ 朝日町の城山にある宮崎城をはじめ、いくつかの山城をつくり、敵の侵入に備えていた。
- ・ 木曾義仲に従って平家と戦った。有名なのは「俱利伽羅峠の戦い」で、火牛の計（牛のツノに松明をつけて敵陣に突撃させる）を用い、義仲の家来として10万騎といわれた平家軍を打ち負かした。
- ・ 天皇の孫「北陸の宮」を朝日町の笹川で守った。
- ・ 木曾義仲は、同じ源氏の源義経に敗れた。宮崎太郎は現在の長野県に逃れ、そこで没した。

○ まめなげ市場・大阪屋 (9月7日・10月11日)

小学3年生の子供たちは、まめなげ市場と大阪屋を見学しました。お店では、お客(買い手)の願いに応えているお店(働く人)の工夫について学びました。まめなげ市場では、朝日町ならではの新鮮な特産品を確認しました。また、大型店である大阪屋では、店内の工夫やバックヤード(店にある商品の準備個所)内にある様々な取組を見学しました。各店の店長さんからは、日々、お客さんの要望に応えるためにいろいろな工夫をしていることを聞きました。子供たちは、熱心にお店で働く人たちの姿に見入っていました。



○ 14歳の挑戦 (9月26日~29日)

中学2年生が、町にある28か所の各事業所で4日間、「仕事」について学びました。



働いた各事業所では、働く意味を深く考えながら、自分の頭と体にそれを取り入れることができました。今年は、コロナ感染も和らぎ、子供たちも真剣に仕事に取り組んでいました。この子供たちの様子を見てみると、その姿の変化に気が付きます。その変化に教員は、大変、驚くそうです。その変化とは、朝のあいさつ、仕事に向きあう姿勢、職場の方々との接し方、帰宅時のあいさつ等です。言うまでもなく、その立派な姿に驚いてしまうのです。子供たちが、

学校へ帰ってきた時も、その様子が続き、とても嬉しくなると教員の方々から聞きました。町内の皆さんから指導していただいたおかげだと感じています。ありがとうございました。

○ 我が町・朝日再発見 (10月11日)

中学1年生が、グループに分かれて、町内を学習いたしました。場所は、①ヒスイ海岸(ヒスイ海岸の由来)、②町商工会(町の食文化)、③町役場(町の観光資源)、④町役場(経済・人口・施設等)、⑤不動堂遺跡・まいぶんKAN(縄文時代)、⑥サンリーナ(ビーチボールの由来)です。町の文化や現状、歴史等を学習するよい機会となりました。町をよく知ることで、他の市町村との比較やこれからの町の方角について深く考える基盤になったと思います。指導して下さった方々にたくさんのことを教えていただきました。ありがとうございました。



今回は、今回お伝えできなかった活動をお伝えできればと考えています。

朝日町地域学校協働本部 (朝日町教育センター内)
電話 : 090-7180-9179
FAX : (0765)83-0279 担当 山崎
Email : asahi.chiikigakkoukyoudouhonbu@gmail.com